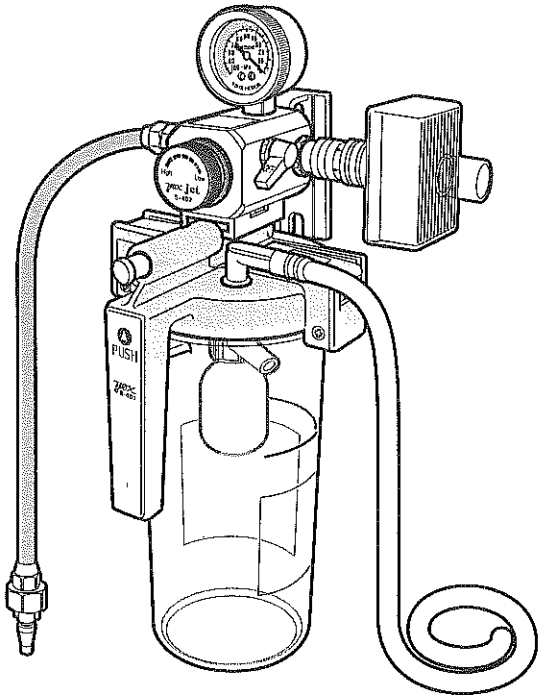
ジェット式吸引器

yox.jet S-402

〈ヨックス ジェット S402〉

届出番号10B2X00014E00001

取扱説明書



⚠警告　取扱説明書をよく読み、内容を理解してから、当製品を扱ってください。

発売元
KOIKE MEDICAL
株式会社 小池メディカル

製造販売元
株式会社 群馬コイケ
GUNMA KOIKE

はじめに

このたびは、「ヨックスジェットS402」をお買い求め戴き、厚く御礼申し上げます。
本書に従わない取り扱い・操作・整備等を行った場合は、性能が十分に発揮できない上、重大な事故につながることがありますので、当製品を扱う全員の方が見られるよう、いつも当製品のそばに置いてください。

当製品は、空気（または酸素）容器またはアウトレットの空気（または酸素）圧力を利用する医療用のジェット式吸引器で、外科手術や治療などによって生じる血液、たん、生理食塩水などの汚物を吸入し、ボトル内に貯留するものです。
本取扱説明書は、当製品を安全に正しくご使用いただくためのガイドブックです。
当製品をご使用いただく前に、必ず本書を読み、取り付けおよび操作方法の他、点検・整備方法などを十分にご理解された上で、ご使用くださりますようお願い致します。

- 本書に従わない取扱い・操作・整備等を行った場合は、重大な事故につながることがあります。
- 本書の説明が完全に理解されるまでは、当製品をご使用しないでください。
- 常に本書を手元に保管し、当製品を扱う全員の方が必ずお読みの上、正しくお使いください。
- 本書を紛失または損傷した場合は、速やかに当社または、お近くの販売サービス店までご連絡ください。

もくじ

●安全の表示／安全メッセージ……2
●安全に使用していただくために……3
●製品の概要……5
●各部の名称……6
●構成品……7
●仕様／オプション／真空度特性……8
●操作：使用前の準備……9
●操作：吸引の開始……14
●操作：吸引の中断・中止／吸引の停止……16
●汚物の廃棄処理……17
●洗浄および消毒方法……19
●保守・点検……22
●消耗部品／廃棄処分について……25
●消耗部品・部品の注文方法／保証期間……26
●故障かなと思ったら……27
●日常点検表……28
●定期点検表……29

●安全の表示／安全メッセージ

安全の表示

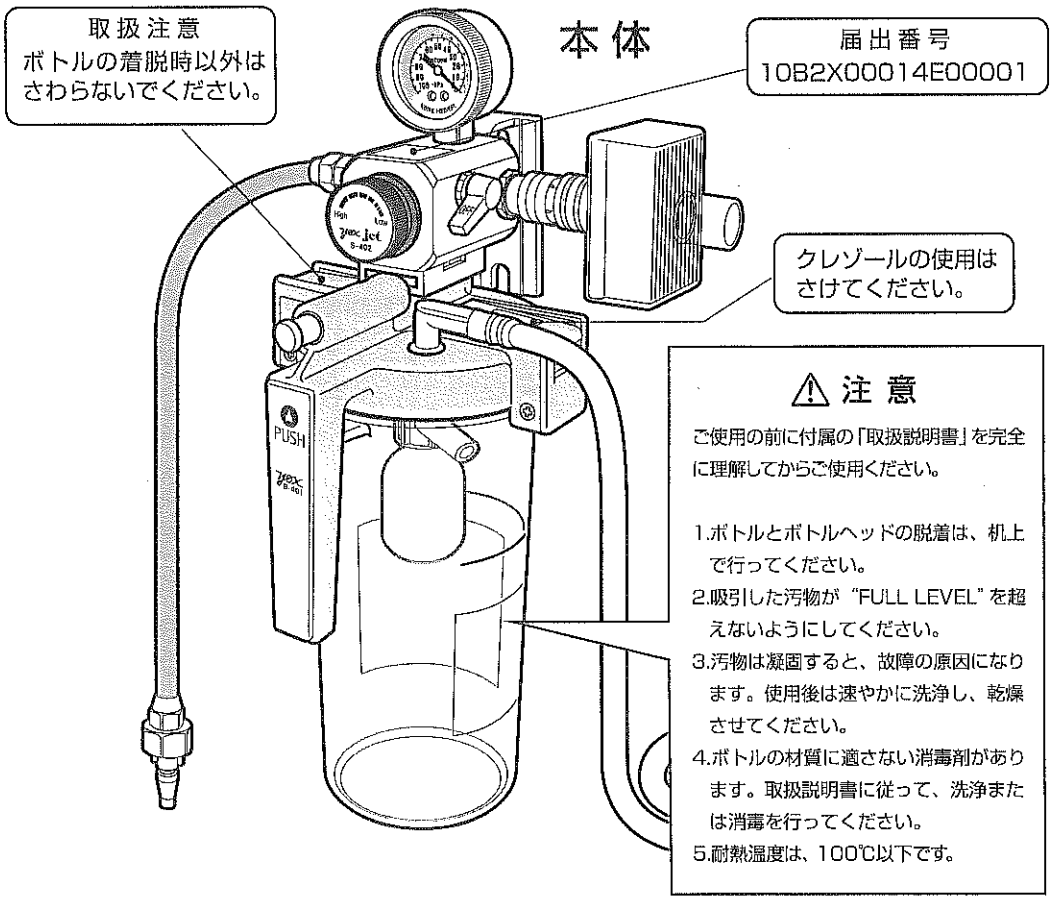
本書および当製品の安全性をよりご理解いただくために、安全の表示を次のように使い分けてあります。

⚠警告	取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性がある危険状態になる場合の注意事項に用いております。
⚠注意	取扱いを誤った場合、軽傷または中程度の障害を負う可能性がある危険状態になる場合、および物的損害のみの発生が想定される場合の注意事項に用いております。

安全メッセージ

当製品に表示されている安全メッセージの内容と、表示位置は下図の通りです。ご確認ください。

安全メッセージの内容を良くご理解の上、安全にご使用願います。



●安全に使用していただくために

酸素ガスの使用上の注意

圧縮ガスとして通常空気を使用しますが、酸素ガスを使用する場合は、下記について特に厳守してください。

⚠ 警告

吸引器の近くでの火気は厳禁です。酸素ガスは燃焼を促進する危険なガスですので、必ず次の注意事項を守ってください。

1. 酸素ガスを使用する場合、火気から少なくとも2m以上離れてご使用ください。
2. 発火のもとになるものを除去してください。マッチ・ライター・火のついたタバコなど、発火のもとになるものは、酸素ガスを使っている部屋には持ち込まないでください。
3. 酸素ガスの使用付近から、可燃性のものは遠ざけてください。酸素吸入器の近くでは、エアゾール型スプレー・ガソリン・シンナーなど、引火性のものは使わないでください。
4. 油脂類を付着させないでください。（燃焼防止）酸素容器のバルブや器具に油脂類が付着していると発火の原因となりますので、油脂類が付着した手や工具類では、絶対に取り扱わないでください。もし付着していたら、脱脂洗浄剤で完全に除去してからご使用ください。
5. 狭い場所や密閉された室内でご使用の場合は、換気および通風を十分に行ってください。酸素濃度が高くなると物質の燃焼性が著しく増加します。

●安全に使用していただくために

吸引器に対する使用上の注意

⚠警告

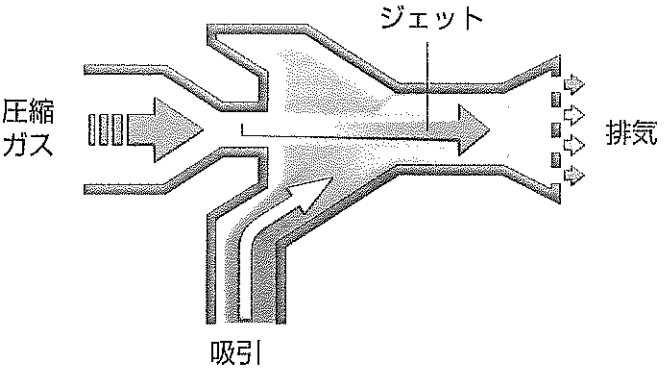
当製品を使用する時は、事故予防措置として次の点にご注意ください。

1. 当製品は外科手術や治療などによって生じる血液・たん・生理食塩水などの汚物の吸引に使用するものです。それ以外の用途には使用しないでください。
2. アウトレットには当製品1台のみ、使用してください。
3. カラーボタンを不用意に押さないでください。運搬中またはセットする前には、不用意にカラーボタンを押すと、ジェットコントローラーが外れて落下することがあります。
4. クランプレバーを不用意に上にあげて、クランプを解除しないでください。机上または床の上以外の場所でクランプレバーをあげると、ボトルが外れて、落下し破損することがあります。
5. 消毒のために薬剤を使用する場合は、薬剤の種類によりプラスチック製品部が侵され、亀裂または破損の原因になるものがあります。薬剤を選定の際は、19ページの表「耐薬品性」を参考にしてください。表中の×印の薬剤は使用しないでください。
6. 使用する薬剤により、プラスチックボトルが使用できない場合があります。その場合は、薬剤の影響を受けないガラスボトルをご使用ください。
7. ジェットコントローラーのフィルターは3ヶ月毎に交換してください。フィルターが目詰まりをして吸引できなくなる場合があります。フィルターは消耗品です。当社標準品をご使用願います。
8. フィルターは薬品（ヒビテン）を吸引すると疎水性が落ち、フィルター性能が落ちる可能性があります。

●製品の概要

製品の概要

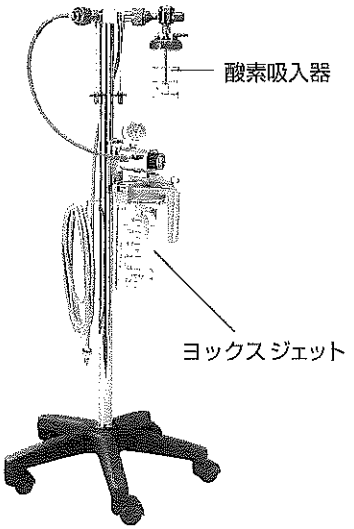
当製品は、空気（または酸素）容器または配管設備の圧縮ガスを利用し、真空をつくり出すジェット式の吸引器です。
右図は真空圧発生の原理です。



1. 電源を使用しません。
2. 空気（または酸素）容器または空気（または酸素）配管設備があれば使用できます。
3. 吸引圧力の設定はジェットコントローラの調整ハンドルで行えます。
4. 吸引の「ＯＮ」「ＯＦＦ」操作は、吸引圧力を設定したままで、行えます。
5. ボトル内の汚物が過量になると笛が鳴り、吸引が停止します。
6. 酸素吸入と汚物等の吸引を同時に行う場合は、下図に示すジェットスタンドセットまたはジェットキャリッジセットで行うことができます。

ジェットスタンドセット

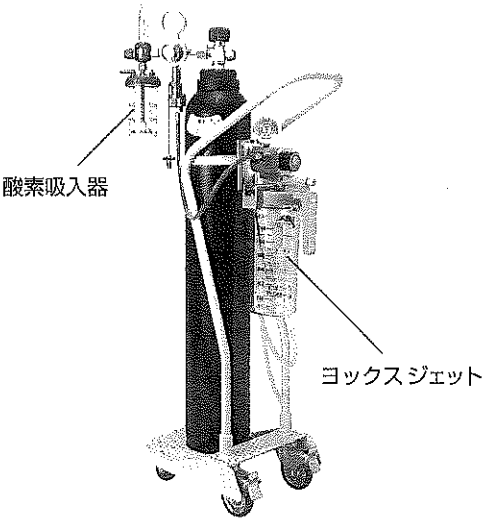
●TYPE S406



●供給ホースを病院内の酸素アウトレットバルブへ接続することにより、酸素吸入と吸引が行えます。

ジェットキャリッジセット

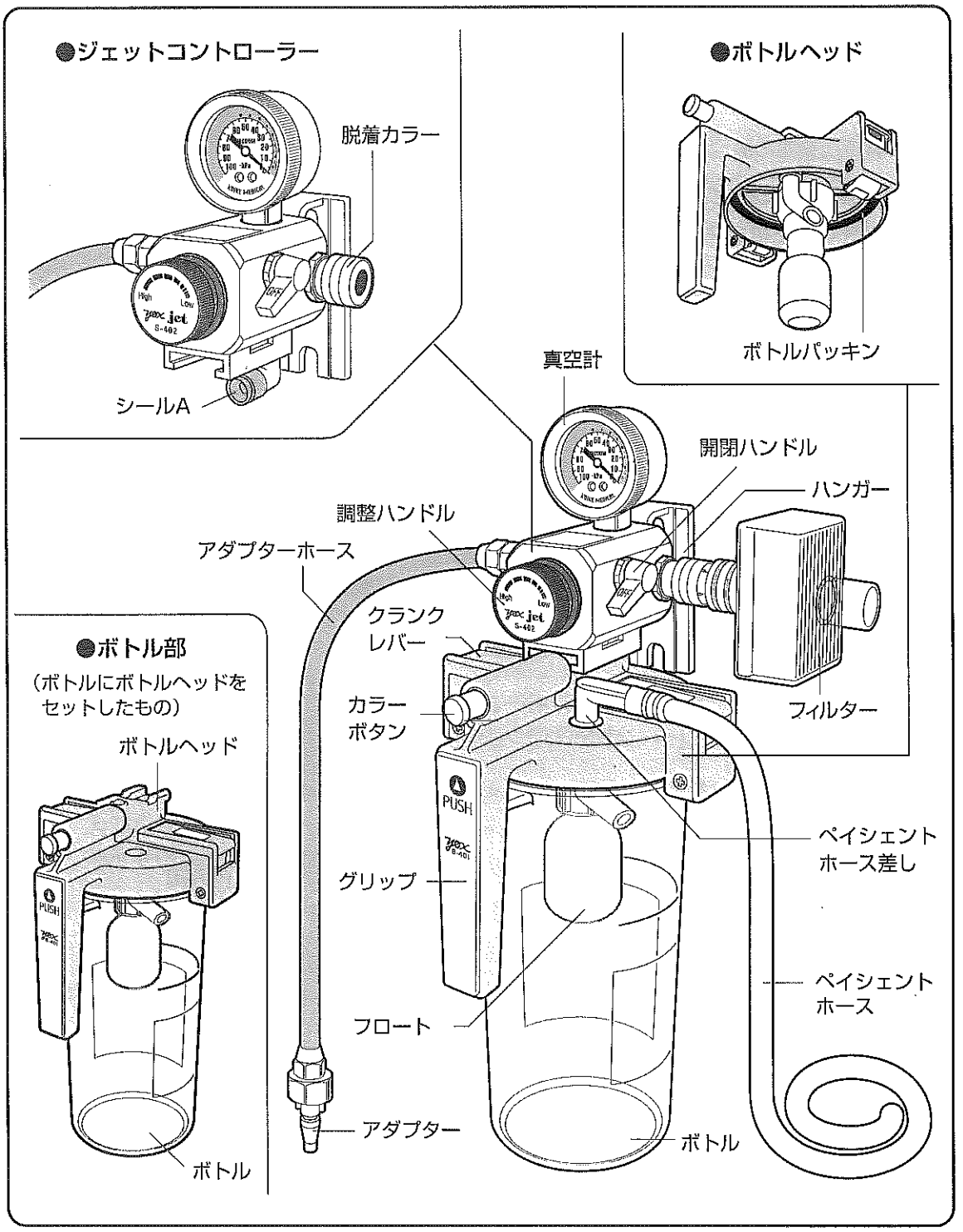
●TYPE S405



●酸素容器を使用して、酸素吸入と吸引がどんな場所でも行えます。

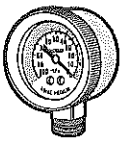
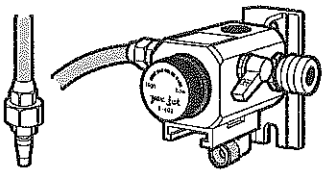
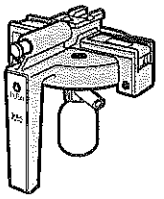
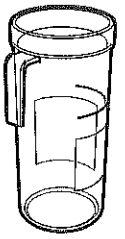
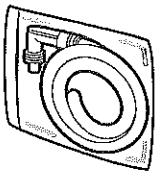
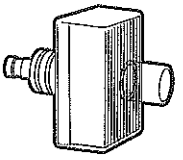
●各部の名称

各部の名称


●ジェットコントローラー
脱着カラー
シールA
●ボトルヘッド
ボトルパッキン
真空計
開閉ハンドル
ハンガー
調整ハンドル
アダプターホース
クランク
レバー
カラー
ボタン
フィルター
●ボトル部
(ボトルにボトルヘッドを
セットしたもの)
ボトルヘッド
ペイシェント
ホース差し
グリップ
ペイシェント
ホース
フロート
アダプター
ボトル
ボトル
PUSH

●構成品

当製品の構成品は表の通りです。ご使用前に、すべての構成品があることを確認してください。
欠品がある場合は、当社または当社販売サービス店にご連絡ください。

	品　　名	ユニット外観	数量
❶	真空計		1
❷	ジェットコントローラー （ホースアダプター付）		1
❸	ボトルヘッド （フロート付）		1
❹	ボトル		1
❺	ペイシェントホース		1
❻	フィルター		1
❼	取扱説明書		1
❽	添付文書		1

●仕様／オプション／真空度特性

仕様

項　目	内　容	
セットの種類	標準セット	特別セット
	S402型	S402G型
一般的名称	ガス圧式吸引器	
販売名	ヨックスジェット S402	
届出番号	10B2X00014E00001	
入口圧力	0.39～0.44MPa	
吸引圧力調整範囲	0～−60KPa（入口ガス圧力0.44MPa時）	
真空計目盛	0～−100KPa	
最大ガス消費量	33L／min（入口ガス圧力0.44MPa時）	
セット内容	真空計・ジェットコントローラー ボトルヘッド・プラスチックボトル フィルター ペイシェントホース（ホース差し付）	真空計・ジェットコントローラー ボトルヘッド・ガラスボトル フィルター ペイシェントホース（ホース差し付）
ボトルの種類	プラスチックボトル	ガラスボトル
全装備重量	1430g	2020g
セット外観寸法	幅153mm×奥行き176mm×高さ388mm	
ボトル単体の重量	273g	約860g
ボトルの寸法	最大外形φ112mm×高さ234mm	
アダプター	ピンインデックス形	

●一般医療機器　●特定保守管理医療機器

オプション

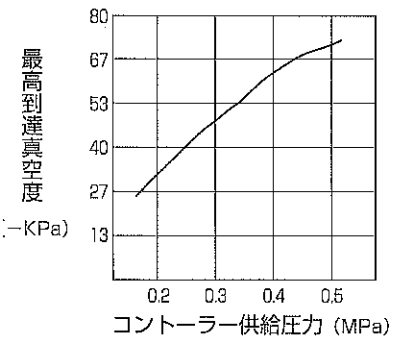
アダプターには、次の2種類がありますので、アウトレットバルブの形式に合わせたアダプターを選定してください。

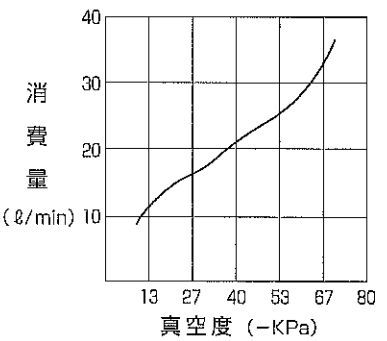
A：ピンインデックス形　　B：シュレーダ形

アウトレットバルブがシュレーダ形式の場合は、必ずシュレーダ形とご指定ください。

真空度特性

右図は、酸素ガスを使用した場合の真空度と消費量の関係を表したものです。





●操作：使用前の準備

⚠警告	当製品の操作は、必ず次の手順に従って行ってください。 手順に従わない場合は、重大な事故が起こることがあります。

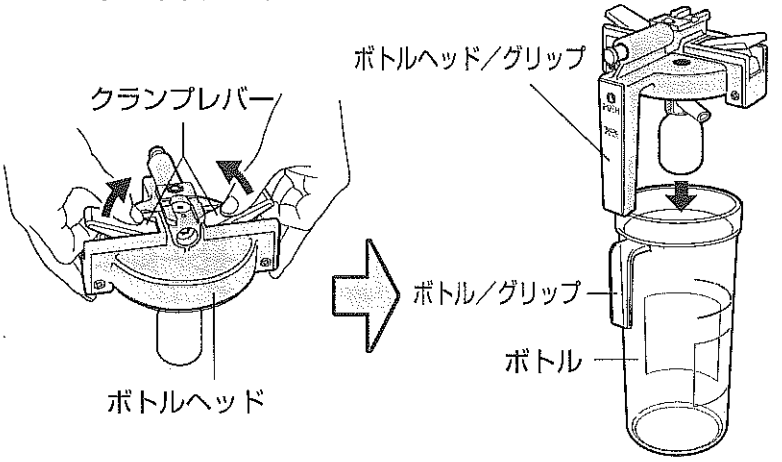
1.ボトルにボトルヘッドをセット

⚠注意	ボトルにボトルヘッドが確実にセットされている事を確認してください。確実にセットされていないと、ボトルの落下により破損し、怪我をすることがあります。

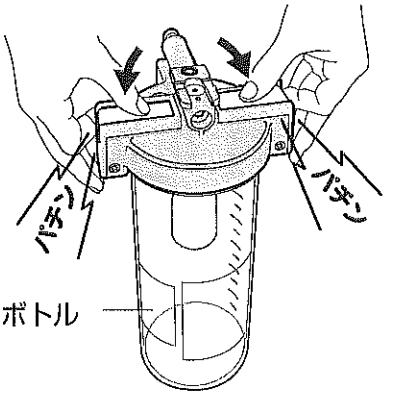
☺

納入品はあらかじめ、ボトルヘッドにボトルがセットされています。

1. ボトルヘッドの2カ所(左右)のクランプレバーを両手で軽く持ち上げて、ボトルとボトルヘッドの両方のグリップ部分が重なるようにボトルに乗せてください。



2. 2カ所(左右)のクランプレバーを押し下げてください。パチンと音がしてセットされます。音がしない場合は、再度やり直してください。



●操作：使用前の準備

2.ジェットコントローラーにボトル部をセット

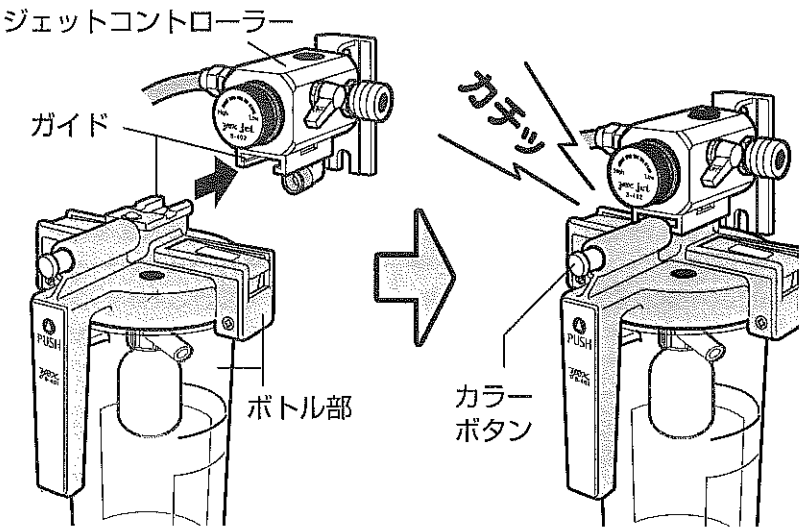
☺

ボトル部とは、ボトルにボトルヘッドがセットされたものをさします。

☺

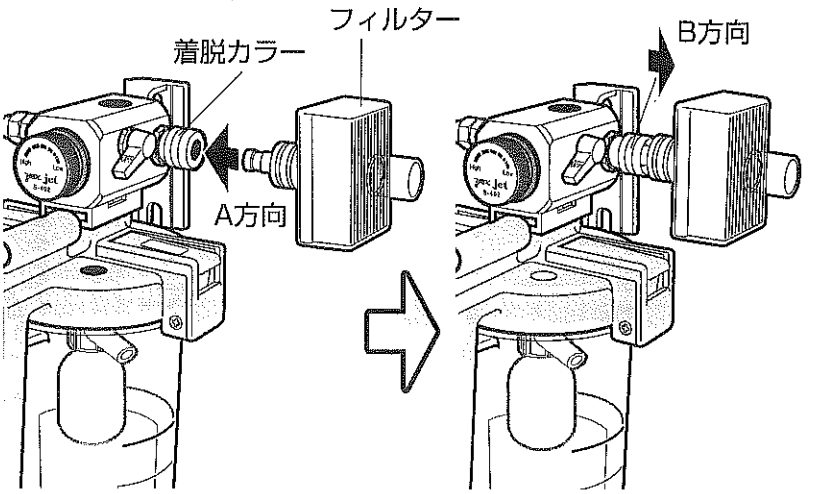
納入品はあらかじめ、ジェットコントローラーにボトル部がセットされています。

図のようにジェットコントローラーのガイドにボトル部のガイドを合わせ、スライドさせます。カラーボタンがカチッと音がするまで押し付けてください。



3.ジェットコントローラーにフィルターをセット

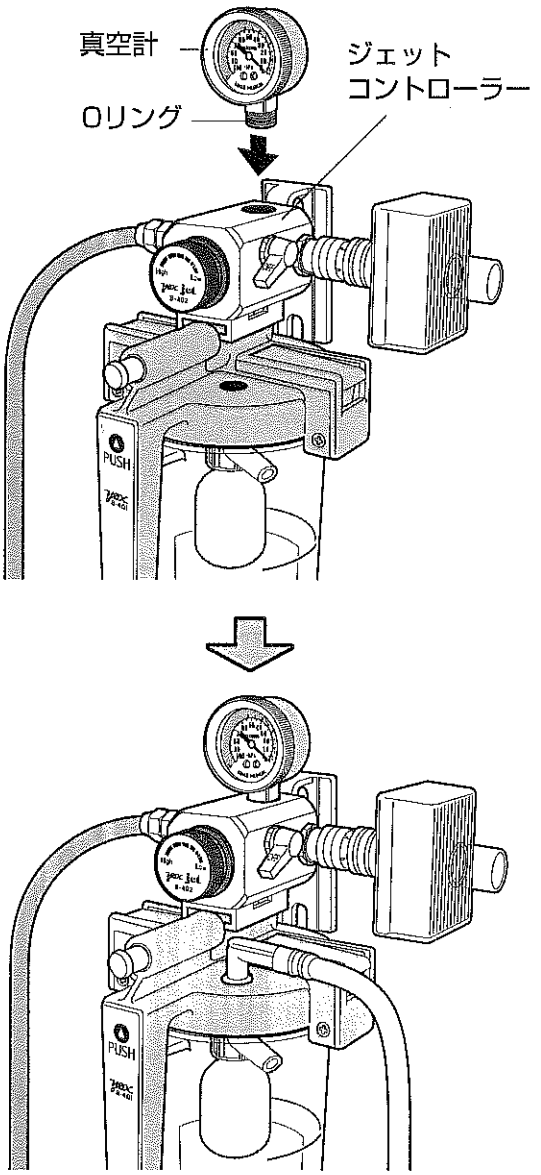
ジェットコントローラー側面の着脱カラーの穴に、フィルターをA方向に差し込みます。（しっかりと奥まで入れてください）次に着脱カラーをB方向にスライドさせてフィルターを固定すると,セット完了です。



⚠注意	ジェットコントローラーのフィルターは3ヶ月毎に交換してください。フィルターが目詰まりをして、吸引できなくなる場合があります。

3.ジェットコントローラーに真空計をセット

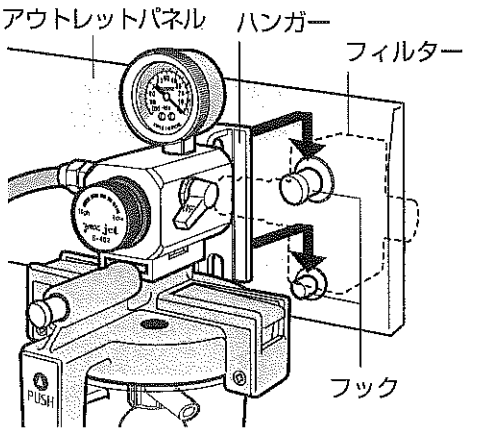
Oリングを傷付けないように、ジェットコントローラー上部の穴に真空計を差し込みます。(しっかりと奥まで入れてください)



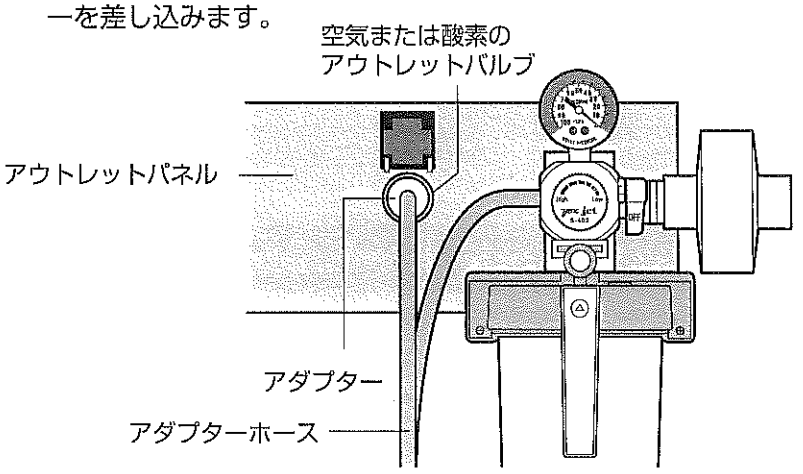
●操作：使用前の準備

4.本体をアウトレットに接続

1. アウトレットパネルのフックにジェットコントローラーのハンガーを引っかけて取り付けます。（右図の点線部分には、フィルターがセットされています）



2. 空気または酸素のアウトレットにアダプターホースのアダプターを差し込みます。

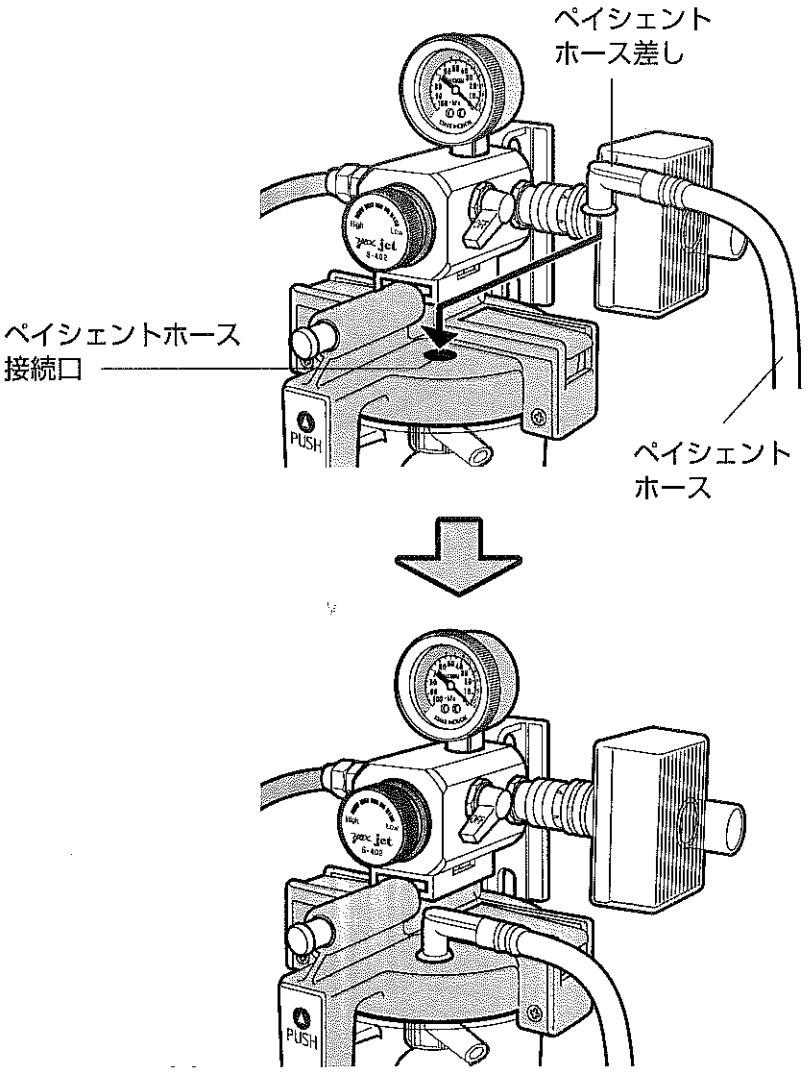


⚠ 注意

- ●アダプターホース先端のアダプターの形式が、アウトレットバルブの形式に合っているか確認してください。
- ●アウトレットバルブにアダプターを差し込む前に、コントローラーの開閉ハンドルが"OFF"の位置にあることを確認してください。
- ●アウトレットバルブにアダプターを取り付ける際には、アダプターのピン位置を合わせ"カチッ"というまで差し込んでください。確実に差し込まないと吸引圧力が作用せず、吸引不可となります。

5.ペイシェントホースをボトルヘッドに接続

ペイシェントホースのホース差しを、ボトルヘッドに差し込みます。



⚠ 注意	ペイシェントホースのホース差しは、ボトルヘッドに確実に差し込んでください。確実に差し込まないと吸引圧力の低下、ペイシェントホース差しの抜けなど、吸引作業の支障となります。

●操作：吸引の開始

吸引の確認

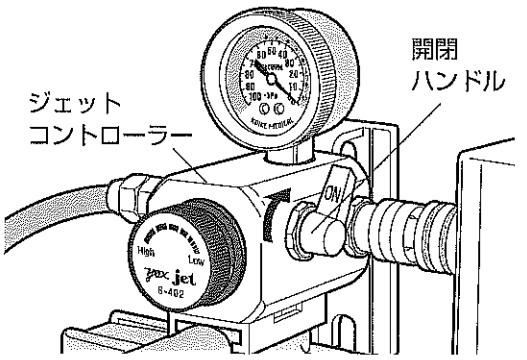
⚠ 警告

酸素ガスを使用する場合の注意事項（3ページ参照）を必ず守ってください。注意を怠ると、重大な事故が起こることがあります。

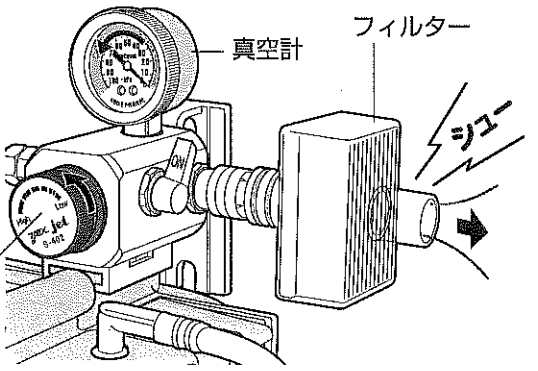
☺

目盛は吸引圧力を表しています。

1. 開閉ハンドルを、ＯＮ側(上側)の止まるところまで軽く廻してください。

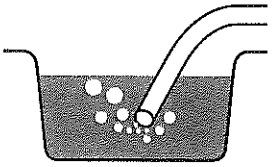


2. 調整ハンドルを反時計方向に廻すと、吸引が開始されます。

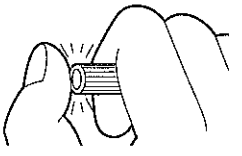


3. ペイシェントホースを閉塞し、真空計の針が目盛「10」まで上がったら、次の2つの方法のどちらかで吸引できるか確認してください。

A. ペイシェントホースの先端を、あらかじめ用意した水の入った容器内に差し込みます。水を吸い上げれば準備OKです。



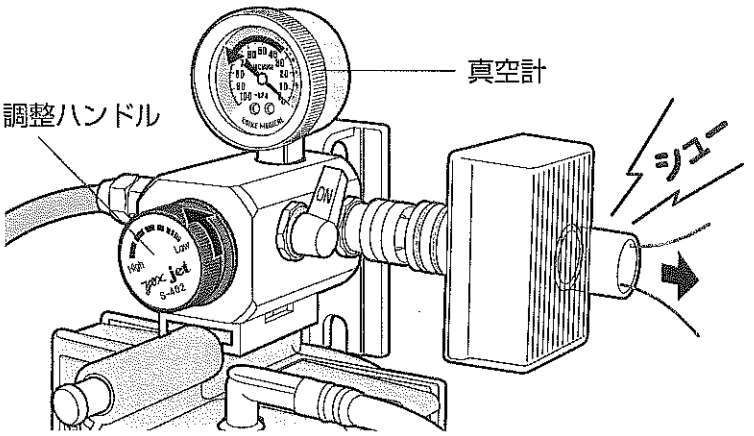
B. ペイシェントホースの先端を、親指の腹に当てます。吸引を確認できればOKです。



⚠ 注意	ジェットコントローラーの吸引圧設定時は、ペイシェントホースを閉塞させて行ってください。ペイシェントホースを閉塞せずに吸引圧設定を行うと、実際の吸引時に生じる吸引圧は設定圧よりも高くなります。

吸引の開始

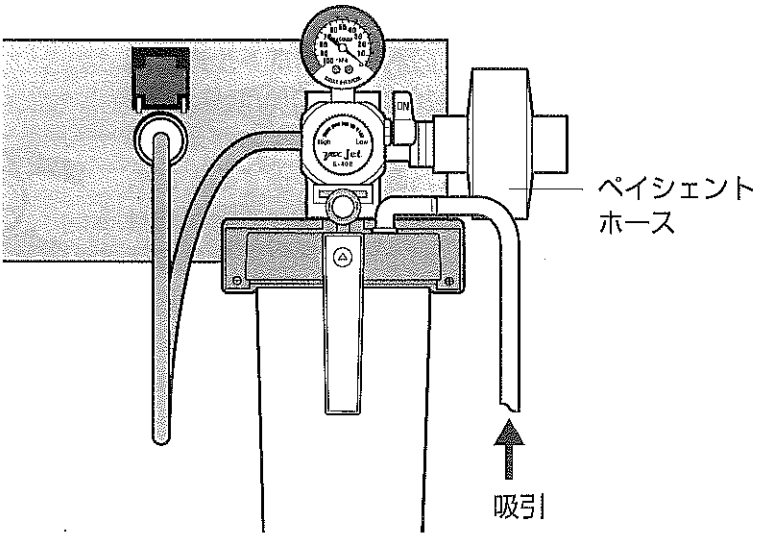
1. ペイシェントホースを閉塞し、調整ハンドルを廻して、必要とする吸引圧力に設定してください。



2. ペイシェントホースの先端から吸引できます。

☺

吸引した汚物等は先の曲がったノズルにより、ボトルの内側に沿って旋回しながら流入しますので、飛沫の発生防止となっています。



●操作：吸引の中断・中止／吸引の停止

⚠ 注意

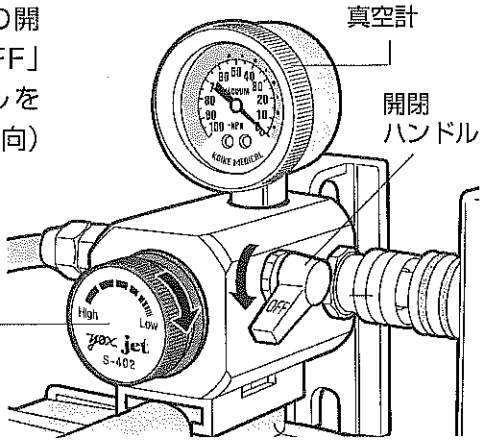
- ●ボトル内の汚物が1000mlの「FULL LEVEL」になる前に吸引を中止してください。汚物をコントローラー内まで吸引すると、医療ガス配管設備およびアウトレットバルブが汚染されることがあります。
- ●ボトル内の汚物が1000mlの「FULL LEVEL」になる前に、早めに廃棄してください。

吸引の中断・中止

☺

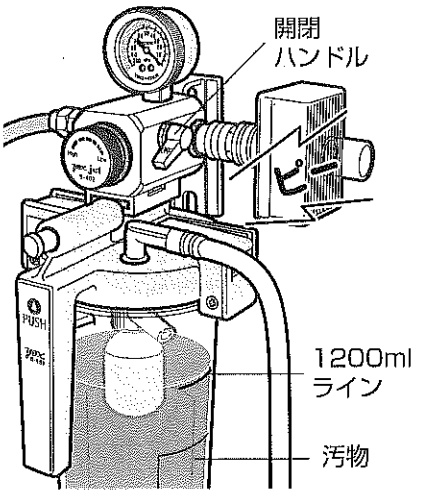
開閉ハンドル操作のみの場合は、調整ハンドルをそのままの状態にしておけば、開閉ハンドルを「ON」側にするだけで、中断前の状態で吸引が行えます。

ジェットコントローラーの開閉ハンドルを下げて「OFF」にするか、調整ハンドルを「LOW」側いっぱい（時計方向）に戻してください。



吸引の停止

この吸引器はボトル内の汚物が約1200mlになると、自動的に吸引圧力が遮断され、吸引が停止するとともに満杯を知らせる笛が鳴ります。開閉ハンドルを下げ「OFF」側に戻し、汚物を廃棄してください。
廃棄は、次のページの「汚物の廃棄処理」に従い、廃棄してください。



●汚物の廃棄処理

廃棄操作の注意事項

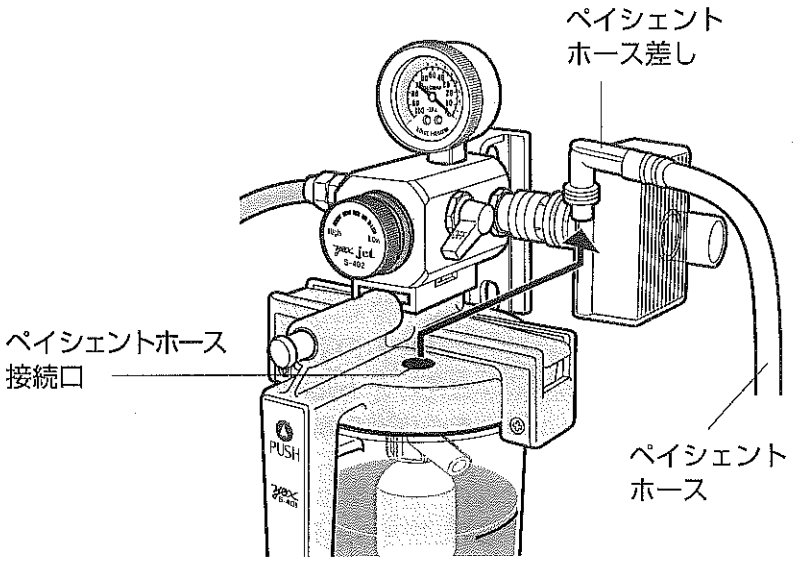
⚠ 注意	汚物を廃棄する時は、次の点に注意して操作を行ってください。汚物の飛散、ボトルの落下、ボトルの破損などにより、汚物による汚染などにつながります。

❶ ボトル内の汚物を棄てるときは、吸引を中止してから行ってください。

❷ 使用後は、汚物が付着したままで放置しないでください。汚物が固化しますと洗浄しにくくなるばかりか、故障の原因になります。直ちに汚物を廃棄し、洗浄および消毒を行ってください。

廃棄の手順

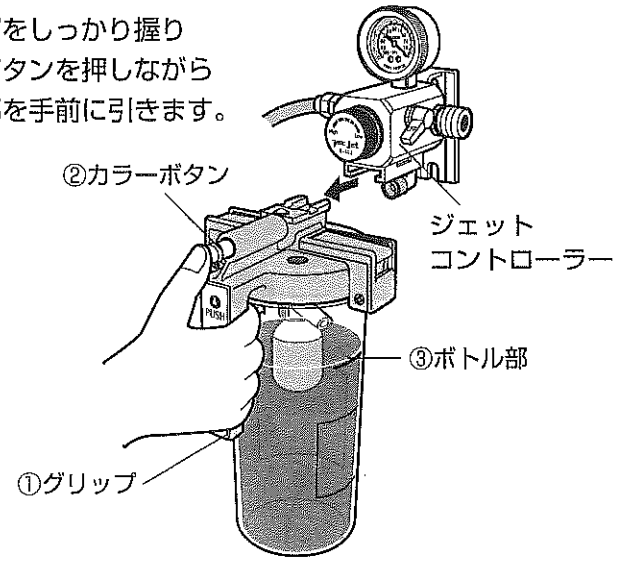
1. ボトルヘッドからペイシェントホースを外してください。



●汚物の廃棄処理

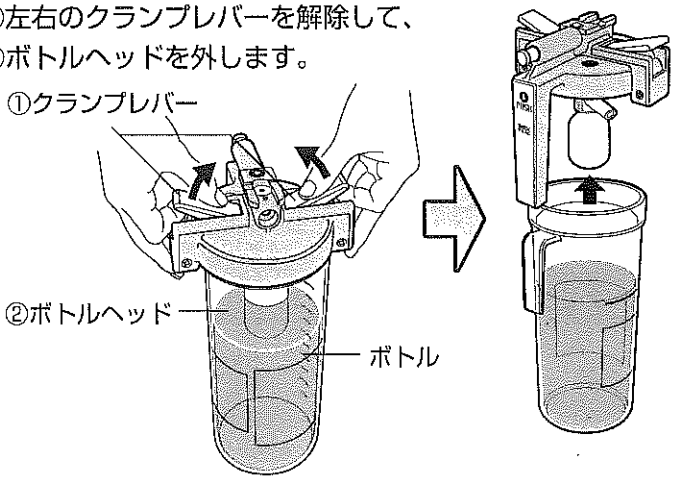
2. ジェットコントローラーからボトル部を外してください。

①グリップをしっかり握り
②カラーボタンを押しながら
③ボトル部を手前に引きます。



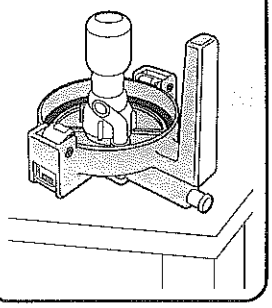
3. ボトルからボトルヘッドを外してください。

吸引ボトルを机上等の平らな場所に置き、
①左右のクランプレバーを解除して、
②ボトルヘッドを外します。



☺

ボトルヘッドは、フロートが上になるように逆さまにして、机上等平らな場所に置くようにしてください。



4. 片方の手でグリップを握り、もう片方の手でボトルをささえ、ボトル内の汚物を所定の廃棄場所に廃棄してください。



●洗浄および消毒方法

洗浄および消毒方法の注意事項

⚠注意	洗浄および消毒方法、または薬剤の種類により、プラスチック製品部が侵され、亀裂または破損の原因となることがあります。

❶ 薬剤の取扱いについては、薬剤に付属されている「取扱説明書」をよくお読みください。

❷ 当製品の使用後は必ず洗浄および消毒を実施してください。

❸ 当製品を洗浄または消毒する際の薬剤は、下表の「耐薬品性」を参考に選定してください。×印の薬剤は使用しないでください。○印の薬剤でも使用方法によりプラスチック製品部が侵され、亀裂が発生することがあります。

耐薬品性

一　般　名	商　品　名	可否
グルコン酸クロルヘキシジン	ヒビテン・グルコネート★	○
	ヒビテン★	○
	ヒビスクラブ★	○
	マスキン液★	○
塩化ベンザルコニウム	オスバン・ヂアミトール	○
グルタラール	ステリハイド・サイデックス	○
クレゾール		×
塩酸アルキルジアミノエチルグリシン	テゴ51	×
	アノン300	×
アルコール	エタノール・メタノール	×
ヨウ素およびヨウ素化合物	イソジン	○
塩化ベンゼトニウム	ハイアミン	○
次亜塩素酸ナトリウム	ハイター	×
	ピューラックス・ミルトン・テキサント	×
植物系油	サラダ油・オリーブ油	×
鉱物系油		×

(注) ★：ただし、アルコールによる希釈は不可　○：使用可　×：使用不可

❹ 上表の他に、濃度もさまざまな薬剤の登場が予想されます。新しい薬剤を使用する場合には、最寄りの弊社営業所または販売店、もしくは消毒メーカーにお問い合わせください。

●洗浄および消毒方法

❺ 当製品のプラスチック製品部の耐熱温度は100℃以下です。
100℃を超える温度での洗浄および消毒は行わないでください。

❻ 急激な温度変化は亀裂および破損の原因となります。

❼ プラスチック製品部の洗浄には、柔らかいスポンジを使用してください。たわしやブラシのような硬いものでの洗浄は、表面に傷がつきますので使用しないでください。

ジェットコントローラーの洗浄および消毒

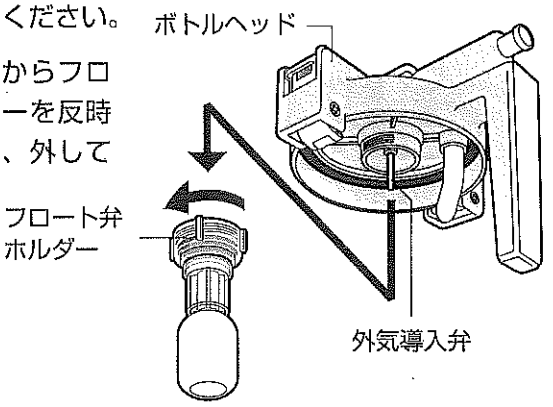
真空計およびジェットコントローラーは精密な構造のため、洗浄消毒をしないでください。汚れた場合は、柔らかい布で拭き取る程度にしてください。

ボトル部の洗浄および消毒

ボトルヘッド

次の順序で実施してください。

❶ ボトルヘッドからフロート弁ホルダーを反時計方向に廻し、外してください。



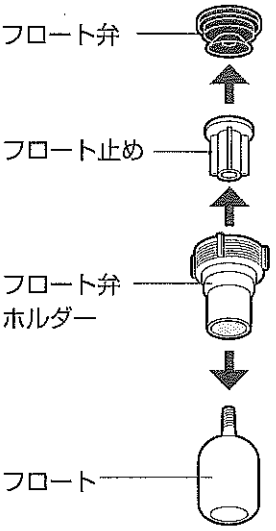
⚠ 注意	フロート弁ホルダーを外すとボトルヘッドから（外気導入弁）が少し出ています。細い棒を曲げたり折ったりしないようご注意ください。満杯時の警告音が出にくくなるとともに、フロートの作動不良、ひいては医療ガス配管設備およびアウトレットバルブが、汚物により汚染されることがあります。

❷ フロート弁ホルダーにセットされているフロート弁を指で押し、外してください。

❸ フロート止めを指で押さえ、フロートを反時計方向に廻し、外してください。

❹ 各部品の洗浄および消毒を行ってください。

❺ 洗浄および消毒後、部品は良く乾燥させてください。



☺

ボトルを長時間、消毒薬液に浸漬しないでください。浸漬時間は、薬剤の取扱説明書を参照願います。

ボトル

ボトルもボトルヘッド同様に洗浄した後、消毒してください。

洗浄および消毒後の組付

よく乾燥させた各部品を、外すときとは逆の順序で正しく組み付けてください。正しく組み付けないと故障の原因になります。

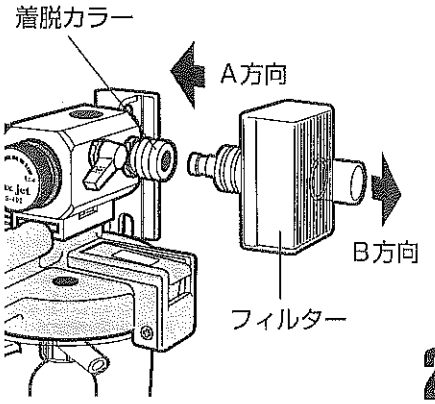
保管について

洗浄および消毒後の組立品は、ポリ袋等に収納し、指定された場所に保管してください。

フィルターの交換について

フィルターの取り付け

右図のように着脱カラーをA方向にスライドさせ、フィルターをB方向に引き抜くとジェットコントローラーから外れます。



フィルターの取り外し

10ページの「3.ジェットコントローラーにフィルターをセット」をご覧ください。

●保守・点検

日常の点検

⚠ 警告

安全および性能を維持するために、保守点検は必ず行ってください。怠りますと、重大な事故につながることがあります。

❶ ご使用前に、必ず点検を行ってください。

❷ 点検項目と点検方法、および不具合時の対処は、下記の表を参照してください。

❸ 点検記録は1年以上保存してください。（下記のチェック事項記載点検表の用紙は当社で用意してあります。）

点検項目と点検方法、および不具合時の対処

点検項目	点検箇所	点検方法	不具合時の対処
吸引性能	ジェットコントローラー、ボトル部の取付品の吸引の確認	P.14の『吸引の確認』により確かめる	吸引できない時は、P.27の『故障および誤作動の対処方法』の表により対処する
気密	ジェットコントローラー、ボトル部の組付部および各ホース接続部に漏れがないか	まず吸引を開始してみる 漏れがある場合は「シュー」と音がするので、石けん水を疑わしい所にブラシまたは筆で塗布する漏れがあれば吸引される	漏れがあった場合はP.27の表「故障および誤作動の対処方法」により対処する
構成品の外観	①ボトルに亀裂または損傷がないか、変色がないか	亀裂または損傷および変色、劣化がないか、目視で確認する	⚠ 注意 新品に交換する
	②ボトルヘッドに亀裂または損傷がないか		
	③ジェットコントローラーに亀裂または損傷がないか		
	④ホース・チューブ類の折れぐせ、劣化、亀裂がないか		新品に交換、または原因を取り除く
	⑤真空計に針上がり、または損傷がないか	針上がり、または損傷がないか確認する	新品に交換する
	⑥フィルター内の変色、異物の混入、劣化、亀裂がないか	針上がり、または損傷がないか確認する	新品に交換する

点検項目	点検箇所	点検方法	不具合時の対処
構成品の接続	確実にセットされていることを確認する	各部品を着脱操作し、セットの状況をみる	再セット
操作性	①開閉ハンドルの動きがスムーズか確認する	ハンドルを回転させ、作動状況を見る	⚠ 注 意 異常が認められた場合は使用を中止し、当社または当社販売サービス店にご連絡ください。
	②ジェットコントローラーの調整ハンドルの回転がスムーズか確認する		
	③カラーボタンの作動とジェットコントローラーの着脱がスムーズか	カラーボタンが正常に作動し、ジェットコントローラーの脱着がスムーズにおこなえるかをみる	
	④クランプレバーの作動と、ボトルヘッドの着脱がスムーズか	クランプレバーが正常に作動し、ボトルヘッドの脱着がスムーズにおこなえるかをみる	
シール材の変形 （シールA ボトルパッキン ベイシェントホース ノズル フロート弁）	①ボトルパッキンは正常に取り付けられているか、また変形、劣化、亀裂等の損傷がないか	変形、変色、劣化、亀裂等の損傷がないか、目視で確認する	取り付け直しまたは新品に交換する
	②フロート弁は正常に取り付けられているか、また変形、劣化、亀裂等の損傷がないか		
	③シールAは正常に取り付けられているか、また変形、劣化、亀裂等の損傷がないか		
清潔感	①ボトルとボトルヘッドおよびフロート関係は清潔になっているか、また洗浄および滅菌消毒はおこなわれているか	油脂類の付着、水あか、金属のさび、汚れ等が無いことを目視で確認する	P.20の「ボトル部の洗浄および消毒」により洗浄、滅菌消毒をおこなう
	②ジェットコントローラーの外観は清潔になっているか		P.20の「ジェットコントローラーの洗浄および消毒」により洗浄、滅菌消毒をおこなう
フロート関係の作動性 （フロート フロート止め フロート弁ホルダー）	①フロートの上下作動はスムーズか	フロートがスムーズに上下作動するか手で押して確認する	取り付け直しまたは新品に交換する
	②フロート、フロート止め、フロート弁ホルダーに変形、劣化、亀裂等の損傷がないか	変形、変色、劣化、亀裂等の損傷がないか、目視で確認する	新品に交換する

●保守・点検

定期点検

❶ 製造後長時間ご使用になりますと、ゴム製品、樹脂製品等に劣化が起こります。少なくとも1年に1回以上、次の定期点検を行ってください。

❷ 定期点検は、お買い求めの販売店または当社にご依頼されることをおすすめします。

❸ 定期点検は、日常点検と同様の項目でおこなってください。

⚠ 警告

●不完全な修理、調整は危険です。部品の交換、調整が必要な場合には、器種名をご確認のうえお買い求めの販売店、または当社にご依頼ください。

●定期点検を販売店または当社に依頼される場合は、当製品を必ず滅菌および消毒後に発送してください。病原菌による感染、または汚染等非常に危険です。

●消耗部品／廃棄処分について

消耗部品の交換頻度

⚠ 警告

部品交換は当社純正部品とご指定ください。部品のご注文は26ページの「部品注文方法」を参照ください。（不完全な修理、部品の交換は危険です。）

消耗部品（番号は26ページ「部品リスト」の部品番号を示す）

番号	部品名称	使用頻度
2	フィルター（組）	A
4	シール(A)	A
7	ボトルヘッド(組)	C
8	ボトルパッキン	B
9	ノズル	B
10	ペイシェントホース差し	A
11	フロート弁	A

番号	部品名称	使用頻度
12	フロート止め	C
13	フロート弁ホルダー	C
14	フロート	C
15	真空計	C
16	プラスチックボトル	C
17	ガラスボトル	C

A：交換頻度…大　B：交換頻度…中　C：交換頻度…小

吸引器および交換部品の廃棄処分

⚠ 警告

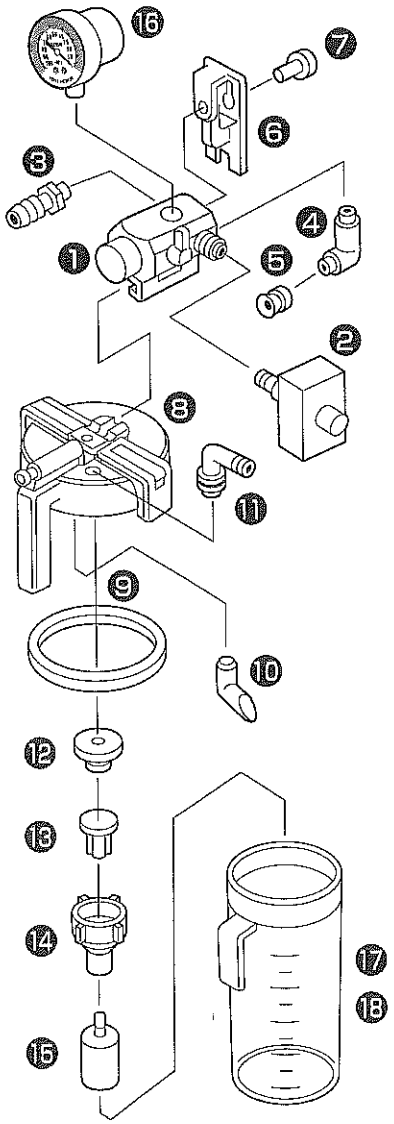
使用済みの吸引器、または吸引器に使われた部品を廃棄する場合は、適合する法規に従って処理してください。

●消耗部品・部品の注文方法／保証期間

消耗部品・部品の注文方法

部品のご注文に際しては、本リストの部品名称、部品番号および数量をお知らせください。

部品図



部品リスト

番号	部品名称	部品番号	数量
①	ジェットコントローラー（組）	324001	1式
②	フィルター（組）	324011	1式
③	ホース差し	—	—
④	導通管	322035	1
⑤	シール（A）	322003	1
⑥	ハンガー	322004	1
⑦	六角穴付ボトル	322032	1
⑧	ボトルヘッド（組）	322012	1式
⑨	ボトルパッキン	322017	1
⑩	ノズル	338006	1
⑪	ペイシェントホース差し	359122	10コ入
⑫	フロート弁	338012	1
⑬	フロート止め	338007	1
⑭	フロート弁ホルダー	338008	1
⑮	フロート	338009	1
⑯	真空計	322007	1
⑰	プラスチックボトル	322010	1
⑱	ガラスボトル	322011	1

記：1.ジェットコントローラー(組)は、②、③、④、⑤、⑥を含みます。
2.ボトルヘッド(組)は、⑧、⑨、⑪、⑫、⑬、⑭を含みます

保証期間

当製品（消耗品は除く）の保証期間は、お求めの日から1年間です。

●故障かなと思ったら

故障および誤作動の対処方法

現　象	原　因	点検箇所	処　置
吸引ができない	酸素または空気ガス容器のバルブが開いていない	酸素または空気ガス	バルブを開く
	アダプターが正常に接続されていない	アダプターおよびアウトレット	アウトレットにアダプターを差し込み直す
	開閉レバーが「ON」になっていない	ジェットコントローラー	開閉レバーを上げて、「ON」にする
	ジェットコントローラーの調整不具合	ジェットコントローラー	新品と交換する 修理は当社または当社販売サービス店にご連絡ください。
	ホースの折れ	ペイシェントホースおよびアダプターホース	折れの原因をなくすか、ホースを取り替える
	導通管の損傷	ジェットコントローラー	導通管を取り替える
漏れがある	シール(A)の不具合	ジェットコントローラー	取り付け直すか、新品と交換する
	ボトルパッキンの不具合	ボトルヘッドの内側	取り付け直すか、新品と交換する
	ジェットコントローラーとボトルヘッドの接続不具合	ジェットコントローラーとボトルヘッド	ジェットコントローラーのレール部にボトルヘッドが固定されるまで押し込む
	ボトルの取付不具合	ボトル	取り付け直すか、新品と交換する
	ボトルに亀裂がある	ボトル	新品と交換する
	導通管の損傷	ジェットコントローラー	導通管を取り替える
自動吸引停止ができない	フロートが作動しない	ボトルヘッド	洗浄し、取付直すか、新品と交換する
	フロート弁が悪い	ボトルヘッド	洗浄し、取付直すか、新品と交換する
吸引圧力の調整ができない	ジェットコントローラーの不具合	ジェットコントローラー	新品と交換する 修理は当社または当社販売サービス店にご連絡ください。

●日常点検表　点検記録は1年以上保存してください。

点検項目	点検箇所	点検日時・点検者								
1.吸引性能	ジェットコントローラー、ボトル部の組付品の吸引確認									
2.気密	ジェットコントローラーとボトル部の組付部、および各ホース接続部の漏れ									
3.構成品の外観	①ボトルの亀裂、損傷、変色の確認									
	②ボトルヘッドの亀裂、損傷の確認									
	③ジェットコントローラーの亀裂、損傷の確認									
	④ホース・チューブ類の折れぐせ、劣化、亀裂の確認									
	⑤真空計の針上がり、損傷の確認									
	⑥フィルター内の変色、異物の混入、劣化、損傷の確認									
4.構成品の接続	確実にセットできることの確認									
5.操作性	①ジェットコントローラーの開閉ハンドルの回転									
	②ジェットコントローラーの調整ハンドルの回転									
	③ジェットコントローラーの着脱									
	④ボトルヘッドの着脱									
6.シール材の変形（シールA：ボトルパッキン、ベイシェントホース、ノズル、フロート弁）	①ボトルパッキン取り付け状態、変形、劣化亀裂等の損傷の確認									
	②フロート弁の取り付け状態、変形、劣化亀裂等の損傷の確認									
	③シールAの取り付け状態、変形、劣化亀裂等の損傷の確認									
7.清潔性	①ボトル、ボトルヘッド、フロート関係の清潔性の確認および洗浄、消毒状態の確認									
	②ジェットコントローラー外観の清潔性の確認									
8.フロート関係の作動性（フロート、フロート止め、フロート弁ホルダー）	①フロートの上下作動の確認									
	②フロート、フロート止め、フロート弁ホルダーの変形劣化、亀裂等、損傷の確認									

レ－点検　○－分解　×－交換　△－修理　A－調整　T－締付　C－清掃、洗浄　S－滅菌消毒

●定期点検表　点検記録は1年以上保存してください。

点検項目	点検箇所	点検方法	点検	備考
1.吸引性能	ジェットコントローラー、ボトル部の組付品の吸引確認	P.14の「吸引の確認」により確認する。		
2.気密	ジェットコントローラーとボトル部の組付部、および各ホース接続部の漏れ	ジェットコントローラーを、ボトル部に組付た状態でボトル部のペイシェントホースの先端を塞ぎ吸引をを開始し、各接合部およびホース接続部の漏れを確認する。漏れがある場合は「シュー」と音がするので、石けん水を疑わしい所にブラシまたは筆で塗布する。漏れがあれば吸引されます。		
3.構成品の外観	①ボトルの亀裂、損傷、変色の確認	亀裂または損傷および変色、劣化がないか、目視で確認する。		
	②ボトルヘッドの亀裂、損傷の確認			
	③ジェットコントローラーの亀裂、損傷の確認			
	④ホース・チューブ類の折れぐせ、劣化、亀裂の確認			
	⑤真空計の針上がり、損傷の確認			
	⑥フィルター内の変色、異物の混入、劣化、亀裂の確認			
4.構成品の接続	確実にセットできることの確認	各部品を着脱操作し、セットの状況を見る		
5.操作性	①ジェットコントローラーの開閉ハンドルの回転	ハンドルを回転させ、作動がスムーズか確認する。		
	②ジェットコントローラーの調整ハンドルの回転			
	③ジェットコントローラーの着脱	カラーボタンを押し、ジェットコントローラーの着脱がスムーズにおこなえるか確認する。		
	④ボトルヘッドの着脱	ボトルヘッドの着脱がスムーズに行えるか確認する。		
6.シール材の変形（シールA：ボトルパッキン、ペイシェントホース、ノズル、フロート弁）	①ボトルパッキン取り付け状態、変形、劣化亀裂等の損傷の確認	シール材の取り付け状態は正常か、変形、変色、劣化、亀裂等の損傷がないか、目視で確認する。		
	②フロート弁の取り付け状態、変形、劣化亀裂等の損傷の確認			
	③シールAの取り付け状態、変形、劣化亀裂等の損傷の確認			
7.フロート関係の作動性（フロート、フロート止め、フロート弁ホルダー）	①フロートの上下作動の確認	フロートがスムーズに上下作動するか、手で押して確認する。		
	②フロート、フロート止め、フロート弁ホルダーの変形劣化、亀裂等、損傷の確認	変形、変色、劣化、亀裂等の損傷がないか、目視で確認する。		

レ－点検　○－分解　×－交換　△－修理　A－調整
T－締付　C－清掃、洗浄　S－滅菌消毒

点検日	
担当者	

お願い

この説明書に記載された、簡単な処置では解決できない問題が生じた時には、直ちに緊急連絡先へご連絡ください。電話番号は下記の通りです。
ご自身で修理を試みることは絶対におやめください。

緊急連絡先

発売元

KOIKE MEDICAL 株式会社 小池メディカル http://www.koike-medical.co.jp/ お問い合わせは、お近くの小池メディカル営業所まで

本　　社	〒132-0031 東京都江戸川区松島1-24-8	TEL.03(5662)6601	FAX.03(5662)6606
東京営業所	〒113-0034 東京都文京区湯島2-14-4 STビル1F	TEL.03(5807)6060	FAX.03(5807)6061
札幌営業所	〒062-0052 札幌市豊平区月寒東二条4-10-1	TEL.011(857)4071	FAX.011(857)4077
東北営業所	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町7-4-45	TEL.022(388)8901	FAX.022(388)8930
盛岡営業所	〒020-0832 盛岡市東見前5-123-4	TEL.019(605)6571	FAX.019(605)6572
新潟営業所	〒950-0853 新潟市東区東明4-6-4	TEL.025(257)7121	FAX.025(257)7123
福島営業所	〒960-8252 福島市御山一本木10-7	TEL.024(533)5550	FAX.024(533)5766
郡山営業所	〒963-0101 郡山市安積町日出山4-180-2	TEL.024(944)7227	FAX.024(944)7233
いわき営業所	〒970-1153 いわき市好間町上好間字岸12-4	TEL.0246(36)5311	FAX.0246(36)5323
茨城営業所	〒308-0847 筑西市玉戸1049-2 サンプラザ1	TEL.0296(20)2033	FAX.0296(20)2055
埼玉営業所	〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-34-2 山田ビル	TEL.048(684)2051	FAX.048(684)1588
神奈川営業所	〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央13-12 PRADOセンター南301	TEL.045(949)5305	FAX.045(944)0925
沼津営業所	〒410-0054 沼津市北高島町2-41 ジェントリーオフィス102号	TEL.0559(27)3190	FAX.0559(27)3191
富山営業所	〒931-8326 富山市上野新町7-43	TEL.076(438)2055	FAX.076(438)3603
高山営業所	〒506-0051 高山市中山町543-1	TEL.0577(36)3050	FAX.0577(36)2967
名古屋営業所	〒453-0865 名古屋市中村区川前町524	TEL.052(413)5224	FAX.052(413)5218
大阪営業所	〒536-0007 大阪市城東区成育2-7-2 岡組ビル 2F	TEL.06(6932)1931	FAX.06(6932)8823
堺営業所	〒599-8112 堺市東区日置荘原寺町415-1	TEL.072(288)2010	FAX.072(288)2011
和歌山営業所	〒640-8412 和歌山市狐島613-80	TEL.073(480)3596	FAX.073(480)3597
広島営業所	〒733-0024 広島市西区福島町2-33-6	TEL.082(294)0830	FAX.082(294)0987
九州営業所	〒803-0817 北九州市小倉北区田町14-29	TEL.093(592)5281	FAX.093(592)5333
福岡営業所	〒816-0063 福岡市博多区金の隈2-17-43 A棟102号	TEL.092(513)3101	FAX.092(513)3661
熊本営業所	〒860-0004 熊本市新町1-4-28 パール新町102号	TEL.096(319)2201	FAX.096(319)2205
大分営業所	〒870-0954 大分市下郡中央3-3-27 メゾンドールN 6号	TEL.097(567)3920	FAX.097(567)3921
南九州営業所	〒890-0055 鹿児島市上荒田10-21	TEL.099(284)0545	FAX.099(284)0546
沖縄営業所	〒910-0152 那覇市字小禄65	TEL.098(859)8077	FAX.098(857)5244

製造販売元 株式会社 群馬コイケ 〒372−0855 群馬県伊勢崎市長沼町222−1